



平成24年10月26日

各 位

上場会社名 株式会社 幸楽苑  
 代表者 代表取締役社長 新井田 傳  
 (コード番号 7554)  
 問合せ先責任者 専務取締役管理本部長 武田 典久  
 (TEL 024-943-3351)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,864	800	830	389	23.99
今回修正予想(B)	18,202	328	356	87	5.43
増減額(B-A)	△662	△471	△473	△302	
増減率(%)	△3.5	△58.8	△57.0	△77.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	17,107	979	1,024	469	28.89

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,441	2,057	2,082	849	52.23
今回修正予想(B)	36,993	1,219	1,242	372	23.16
増減額(B-A)	△1,448	△837	△839	△476	
増減率(%)	△3.7	△40.7	△40.3	△56.0	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	35,172	2,020	2,075	777	47.85

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,827	827	394	24.26
今回修正予想(B)	18,168	344	94	5.82
増減額(B-A)	△658	△483	△300	
増減率(%)	△3.4	△58.4	△76.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	17,076	995	456	28.08

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,345	2,050	838	51.61
今回修正予想(B)	36,900	1,200	364	22.65
増減額(B-A)	△1,444	△849	△474	
増減率(%)	△3.7	△41.4	△56.5	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	35,110	2,003	734	45.18

## 修正の理由

### 【第2四半期累計期間】

売上高につきましては、新規出店国内計画28店舗に対して実績30店舗、海外計画1店舗に対して実績1店舗となり、新店売上高はほぼ計画通りとなりました。一方で直営既存店売上高は前期比1.1%の減少を計画に織り込んでおりましたが、景気低迷による外食機会の減少、外食他社・中食市場との競争激化等の厳しい経営環境の影響を受け、前期比4.0%の減少となったこと等から、直営店売上高は計画対比で3.3%の減少となりました。これにより、前回発表予想の売上高を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、原価率はほぼ計画通りとなり、販管費は売上減に応じたコストコントロールに努めてまいりましたが、既存店売上高のマイナスを吸収するには至らず、販管費率は計画を上回る見通しです。

この結果、前回発表の第2四半期累計期間業績予想に対して、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

### 【通 期】

当社グループが属する外食産業におきましては、引き続き厳しい経営環境が続くことが見込まれ、売上高の下振れリスクが潜在するものと想定されます。当社グループはこうした状況を踏まえて、顧客満足度を高めるための店舗QSC対策と商品戦略強化に継続的に取り組むとともに、1,000店舗体制実現と業界シェア拡大に向けた新規出店を積極的に推し進めてまいります。

第3四半期以降の見通しにつきましては、新規出店は当初計画通りの出店を見込んでおりますが、直営既存店売上高は直近の実績を勘案して前期比5.7%の減少を見込んでいることから（当初計画は前期比2.1%減）、売上高は当初計画を下回る見通しです。利益面につきましても、店舗就労コントロール等による人件費の削減等を見込んでおりますが、既存店売上高のマイナスを吸収できない見通しにあることから、当初計画を下回る見通しです。

第2四半期累計期間及び第3四半期以降の見通しから、前回発表の通期業績予想に対して、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上